

インドクジャクの「ピィちゃん」が死亡しました



インドクジャクの「ピィちゃん」（メス・8歳）が2020年5月20日に死亡しました。

5月20日の午前中より元気、食欲がなく、獣医師による治療を行いました。深夜0時ごろ死亡を確認しました。解剖の結果、卵管に形成途中の異常な卵が詰まっており、これが閉塞したことにより死亡したものと考えられます。

ピィちゃんは2011年7月に当園でふ卵器によってふ化し、人工育すうによって育ちました。人への警戒心がうすく自ら寄っていくこともあり、たくさんのお客様に可愛がっていただきました。これまで会いに来てくださった皆様に心より感謝を申し上げます。

「ピィちゃん」の死亡により、インドクジャクの展示はオスの「オトウサン」1羽となります。